



予算『4つの柱』の重点施策

I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

創造的復興理念の継承

阪神・淡路大震災30年事業の一環として、災害からの創造的復興をテーマとした「創造的復興サミット」を9月20日④に開催します。



阪神・淡路大震災から30年の節目となる2025(令和7)年1月17日、「ひょうご安全の日のつどい」を開催。

SNSによる誹謗中傷等の防止対策の強化

SNSによる誹謗中傷等の深刻化に対応し、ネットリテラシー向上のための普及啓発キャンペーンや弁護士相談窓口の拡充に取り組むとともに、条例制定に向けた検討を進めます。

救急安心センター事業(#7119)の全県展開

増加する救急需要に適切に対応するため、救急医療相談や医療機関の案内を行う救急安心センター事業(#7119)の全県展開を進めます。

ケアリーバーへの支援の充実

社会的養護経験者(ケアリーバー)の将来の選択肢を広げ、学びや好奇心を満たす環境を整えるため、大学進学への支援を実施します。



大学生が児童養護施設を訪問し交流。

特殊詐欺等の対策強化

固定電話による特殊詐欺対策に加え、SNS型投資・ロマンス詐欺などの新たな詐欺へ対応するため、体験・体感型講習会など普及啓発を強化します。



①特殊詐欺の手口を学ぶ体験会。②特殊詐欺被害防止に向けた講習会。

その他の事業

●多文化共生の推進 など

II 若者が輝く兵庫

不妊治療支援の充実

対象医療機関を隣接府県まで拡充し、所得や回数の制限なしで保険適用外の先進医療費を助成。子どもを産み育てたいと願う人たちが、安心して不妊治療を受けられる体制を整えます。

県民の声

仕事終わりに立ち寄れる診療所が県外にあるので、仕事と両立しながら治療できるようになるとありがたいです。



日よけやベンチなど子育て世帯のニーズが高い施設を整備。

学びの場・遊びの場の確保

子どもが健やかに育つ環境整備を推進。大学や企業、県庁舎等に高校生向け自習室を開設するほか、公園等に子どもや親からのニーズが高い遊具や日よけ、ベンチを整備します。

次代を担う人材の育成

昨年度スタートした「高校生チャレンジ留学～HYOGO高校生『海外武者修行』応援プロジェクト～」は募集人数を20人程度に拡充し、世界で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を支援。また、地域創生を担う人材を育成する「ふるさと共創プロジェクト」が始動します。



チャレンジ留学から帰国した高校生たちが、留学の成果や今後のキャリアプランについて意見交換。



「わんぱく広場」のイメージ。

県営住宅における子育て世帯への支援

LDK化やシステムバス設置等のグレードアップ改修のほか、新たに、地域に開かれた未就学児向けの「わんぱく広場」を尼崎西昆陽住宅に整備します。

その他の事業

●奨学金返済支援の拡充
●産後ケアの充実 など

多様な人材の確保(外国人雇用)

多文化共生の推進に向け、外国人が安心して就職し定着できるよう、外国人雇用に関する企業認定制度を創設し、企業の取り組みを見える化します。